

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善の計画と評価 (2024 年度)

項目	部署	2023 年度 評価 (2024 年 3 月末日)	2024 年度 計画
1	看護部 ・各病棟 ・外来 ・手術室 在宅サービス部	<p>外来、手術室、病棟間で連携して、応援対応するなど過重労働にならないように臨機応変な対応を行った。</p> <p>在宅、訪問看護ステーションと情報 交換を行い、退院前から支援できるような連携体制が構築された。</p>	<p>引き続き、過重労働にならないように協力体制や仕組みを検討していく。</p> <p>外来から入退院、在宅に至る療養生活において連携協力体制をすすめていく。</p>
2	看護部 診療部 診療技術部 リハビリテーション技師部 事務部 医療安全対策室	<p>各部門、職種間で連携をとり、タスクシェア・シフトを推進した。</p> <p>医師の支援として代行入力を行うためのプロトコールを作成し、実施した。</p>	<p>引き続きチーム医療の推進を継続し、協力体制を確立する。</p> <p>医師の代行入力のプロトコールについて見直しを行う。</p> <p>専門性を高め、ケアを通して診療の支援を行う。</p>
3	地域連携部 看護部 ・外来 ・各病棟	<p>地域連携部と協力して、入退院支援に関する流れを再検討し、より効率的に支援を行えるように体制を整備し、運用を開始した。</p>	<p>引き続き、地域連携部（入院サポートセンター）と協力して、外来受診時から入退院の支援を行う。</p>
4	看護部	<p>手作業で行っていた煩雑な勤務表作成業務をコンピュータによる自動作成が可能な専用ツールを導入した。</p>	<p>業務を数値で見える化することで、繁忙度や貢献度の評価につなげる。</p> <p>PFM の一環として、病床の運用状況を把握するシステムを導入し、より効率的な病床運営を行うことで地域医療 及び病院経営に貢献する。</p>